

**解説 17 元見積りからどれだけの利益が確保できるか？  
－実行予算の損益について－**

工事をする上の最終目的は「発注者の要求する目的物を、期間内に、事故や災害を起こすことなく、環境に配慮して、その中で適正な利益を確保する」ことである。これにより、工事会社は維持発展し、社会に貢献することができる。

実行予算作成までには、さまざまな見積り、予算編成がある。実際の工事業務において確実に利益を得るために、それぞれにおける損益の意味をよく理解しておこう。

**①元見積り損益**

工事を受注するために行う見積りで算出された損益（請負者内の元見積り最終責任権限者の承認したもの）。

**②提出見積り損益**

工事を受注するために行う見積りで算出された損益（請負者内の元見積り最終責任権限者の承認したもの）。

**③実行予算損益**

実際の施工条件の基で詳細施工計画に則った施工法、施工管理、運営することで確保可能と判断された損益。つまり、工事責任者が約束した必達の損益となる。

**④目標損益**

工事担当者の原価低減努力を期待して全社的経営目標達成の見地から、実行予算損益を上回って設定する努力目標損益である。

**解説 17 元見積りからどれだけの利益が確保できるか？  
－実行予算の損益について－**

工事をする上の最終目的は「発注者の要求する目的物を、期間内に、事故や災害を起こすことなく、環境に配慮して、その中で適正な利益を確保する」ことである。これにより、工事会社は維持発展し、社会に貢献することができる。

実行予算作成までには、さまざまな見積り、予算編成がある。実際の工事業務において確実に利益を得るために、それぞれにおける損益の意味をよく理解しておこう。

**①元見積り損益**

工事を受注するために行う見積りで算出された損益（請負者内の元見積り最終責任権限者の承認したもの）。

**②提出見積り損益**

元見積り損益などを基に、請負者の経営責任者（社長又はその代理人等）が経営的判断から決めた、工事入札に提出する見積りでの損益。

**③実行予算損益**

実際の施工条件の基で詳細施工計画に則った施工法、施工管理、運営することで確保可能と判断された損益。つまり、工事責任者が約束した必達の損益となる。

**④目標損益**

工事担当者の原価低減努力を期待して全社的経営目標達成の見地から、実行予算損益を上回って設定する努力目標損益である。